



国土交通省では、2019年を「貫徹の年」として、「生産性革命」を加速させるため一層の普及推進を図っているところです。

北陸地方整備局においても、ICT技術活用の拡大、コンクリート工の生産性向上、施工時期の平準化を推進し、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

最新ニュース

『i-Construction大賞授与式を開催』

○建設現場の生産性向上に優れた取り組みを表彰する「i-Construction大賞」の授与式が開催されました。

『i-Construction推進本部会議を開催』

○i-Constructionの3本柱である「ICTの全面的活用」、「規格の標準化」、「施工時期の標準化」の現場への導入、地方公共団体、業団体への普及活動を推進するためのi-Construction推進本部会議を開催しました。

本号の掲載内容

ICT技術の活用

i-Construction大賞授与式開催、i-Construction推進本部会議開催

規格の標準化

なし

施工時期の平準化

なし

i-Construction大賞の授与式開催

- ・建設現場の生産性向上に係る優れた取組を表彰する「i-Construction大賞」の受賞者に対して、国土交通大臣より表彰する授与式が1月21日(月)に開催されました。
- ・北陸地方整備局管内では、直轄工事/業務部門で共和土木株式会社(富山県)が優秀賞を受賞しました。また、新潟県発注の「一般国道253号(三和安塚道路)本郷サーチャージ盛土(その2)工事」を施工した田中産業(新潟県)が、地公体等発注工事/業務部門で国土交通大臣賞を受賞しました。

【共和土木株式会社 平成29年度浦山縦工他工事】

発注者:黒部河川事務所 施工場所:富山県黒部市若栗地先

【工事概要】

本工事は、黒部川における急流河川対策としての縦工及び魚の生息場に配慮した環境整備工などを施工する工事であり、河川土工等においてICT技術を活用し施工したものである。なお、縦工に係る河川土工は、3D起工測量から3Dデータ納品までの一連の施工を対象とした「ICT活用工事(施工者希望型)」である。

<護岸・縦工>

- ・河川土工:掘削(ICT活用) 19,800m³、法面整形(ICT活用) 1,320m²
- ・法覆護岸工:ブロック据付(根固めブロック含む) 438個

<環境整備工>

- ・環境整備工:環境整備工 1式、河道整正(ICT活用) 24,100m²

<積雪条件下での掘削>



<TSミラー搭載ドローンによる測量>



<現場関係者等による勉強会>



<重機オペチームによる講習会>



受賞者全員による記念撮影

石井国土交通大臣との記念撮影

- 豪雪による積雪があっても、3Dデータから読み取った設計値(高さ)に基づき施工する事で除雪を行わなくても工事を進捗
- 河道整正の起工測量においてTSのミラーを搭載したドローンを使用し、ドローン測量の際に必要な評定点の設置を省略
- 重機オペの関連部署にて講習会や、黒部河川事務所の職員や他工事の現場担当者等を対象とした勉強会を開催し、ICT技術の普及に貢献



会議開催状況

1月30日(水)に平成30年度第2回i-Construction推進本部会議を開催し、3本柱の取組状況について中間報告を行うとともに、生産性革命「貫徹の年」となる2019年度方針(素案)について審議を行いました。

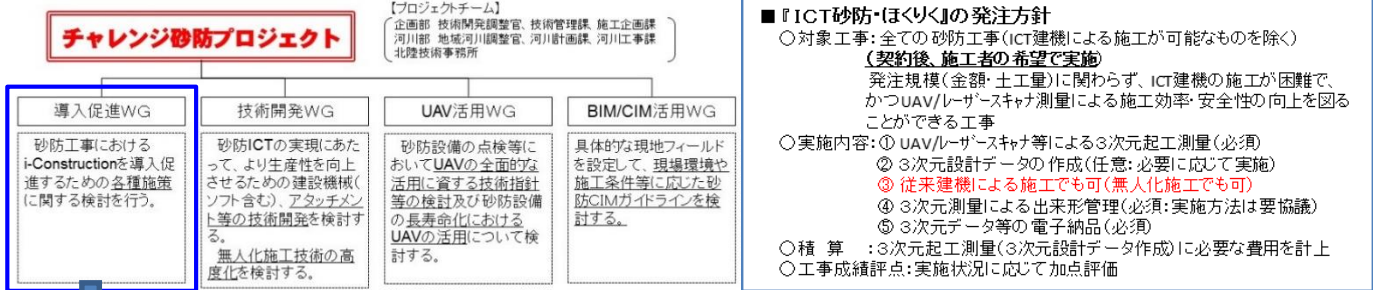
■ICTの全面的活用

- ・今年度の実施状況等(平成30年12月末時点)について報告。
- ・ICT活用率の低い砂防工事、山間地域での導入を加速させるため、「ICT砂防・ほくりく」の試行、山間地域での講習会開催を行うことを確認。

【チャレンジ砂防プロジェクト 第一弾 『ICT砂防・ほくりく』の試行】

- ・平成28・29年度発注のICT活用対象工事の工事分野別活用状況は、河川・道路分野では7割前後だが、砂防分野では3割程度
 - ・砂防現場では、現場内の転石や狭隘な谷地形などの環境下においてマシン・コントロール、マシン・ガイダンス建機の使用等が困難なことから普及が進んでいない状況
 - ・一方で管内の砂防工事は、高標高域での現場が多く、作業員にとって厳しい作業環境である上に天候に左右されやすく、冬期施工が困難なため工程管理等が極めて困難な分野
- これらの実態を踏まえ、砂防現場におけるi-Constructionの導入を加速させることを目的に「**チャレンジ砂防プロジェクト**」を立ち上げました

「チャレンジ砂防プロジェクトチーム体制」



第一弾 『ICT砂防・ほくりく』の試行

砂防工事において、起工測量・出来形管理にUAV・レーザースキャナ等、ICTを最大限活用することにより、工事現場の生産性・安全性が向上!

